

神奈川県視察報告書

10 番 川口堅志

令和8年2月16日(月)～18日(水) (3日間)

16日、神奈川県横浜市真鶴の研究施設視察

山下様と柴山様に対応していただきました。カイワレ大根を消費するだけの量、室内で育てる器具を開発と、塩を自然蒸発する方法の開発等、誰もが笑うような研究を真剣に取り組んでいました。

もちろんスポンサーよりの給料で生計は成り立っているとのことでした。

17日、横浜市の(京急沿線横浜南部におけるまちづくり)を山下様より引率していただき、京急電鉄の社員の方より教授頂きました。

京急では電車の乗客数が南部の方が減少し始めているのに歯止めをかけるための施策で、減少沿線の過疎化が原因と捉えてまちづくりによる対策を講じているとのことでした。

7年前より取り組み、出来る限りの過疎化へのスピードを落とすかが目的だと力説していただきました。

18日、東京都内の視察でしたが、海外からの観光客で賑わって日本人を探すのが大変でした。早々の空港に付き帰路につきました。

研修に思うことは、どの講師も若者が自由な発想で取り組んでいるのが非常に興味深いものです。

八女市にはほしい人材だとつくづく思いました。どこにでもこのような発想を持った人材はいるものかもしれませんが、発掘されていないのが現状ではないでしょうか。

八女市が、高齢化を減少させるためには、このような若者の人材発掘をもっと本気で考え取り組むことが重要課題だと、改めて認識しました。地方が発展するには何が必要かは、やはり人材発掘と育成です。

人が人を呼び人が人材を発掘する仕組みづくりが今後の課題だと確信しました。

お世話をお掛けしました皆様ありがとうございました。